



12月

畜産総合センターよういん通信

平成29年12月

すっかり寒くなってきて、人もブタも体調管理に一層注意する季節となりました。今回は、10月に育児休業から復帰し、母となった杉山技師が執筆しました。

○冬季における子豚の保温管理について（当所の飼養管理の紹介）

当所の分娩室では、子豚を保温するため、以前は板でコルツヒーターの付近を囲うなどして風除けしていましたが、この方法だと子豚が保温スペースの外や母豚に寄り添って集まってしまい、十分に保温できないことがありました。これは板による風除けだけでは暖かい空気がすぐに拡散してしまい、場所によって空気の温度にムラができ、保温スペースの中であっても、子豚にとって居心地の悪いところになっていたことが一因と考えられました。

そこで、2年前から、冬季の間だけ子豚の保温スペース入口にカーテンを設置することにしました。現在は、事前にコルツヒーターで暖めておいた保温スペースに生まれてまもなく入れてやると、その後も安心して過ごしてくれるようになりました。

カーテンは、ビニールダクトを切ったものを利用しています。その都度使い捨てになりますが、廃材等を利用して自作することができ、簡単に母豚と子豚、それぞれの適温での管理を行いやすくなることができます。

もう少し大きな子豚のいるところは、ガスブレンダーを用いて暖めています。

寒さに弱い子豚たちは、必ずシグナルを出していますので、不自然に集まって寝ていないか、体調不良や異常行動がないかを日々確認しながら、大切に育てています。



ビニールダクトで作ったカーテン

保温スペース内で過ごす子豚

○レジェンド（アイリスL3）の挑戦（続報）

8月号のよういん通信にて紹介した16産目となるアイリスL3の分娩結果を報告します。

9月4日に分娩、分娩頭数は8頭と高産歴のためか少しだけ低下したものの、21日齢での平均体重は7kg以上となり、高い泌乳能力を裏付ける結果となりました。

また、当所では生きたまま系統豚の遺伝資源を維持するため、母豚を一般的な農場よりもかなり長い期間飼養するにもかかわらず、アイリスL3は肢蹄が強健であるためか、肢蹄の故障による母豚の廃用はほとんどありません。

レジェンドのような豚が出てくるのもアイリスL3だからこそ…！？

肢蹄強健なアイリスL3を今後ともよろしくお願い致します。

（連絡先）

◇畜産総合センター : 0564-21-0201